

平成 24 年度第 1 回 国土交通省航空局 総合評価委員会

審議概要

開催日及び場所	平成 24 年 5 月 25 日（金）東京航空局 B1 会議室
委員	委員長 長谷川 俊明（長谷川俊明法律事務所 弁護士） 委員 轟 朝幸（日本大学理工学部教授） 委員 酒井 正子（帝京大学経済学部教授）
審議事項	<ul style="list-style-type: none">・ 建設コンサルタント業務等 建設コンサルタント業務等の発注実績等（報告事項） 実施方針（案）（建設コンサルタント業務等） 共通する評価方法（案）（建設コンサルタント業務等） ・ 工事 工事の発注実績等（報告事項） 実施方針（案）（工事） 共通する評価方法（案）（工事）
各委員からの意見等	・ 別紙【議事要旨】のとおり。
各委員の意見を踏まえた変更事項	・ 「企業」の記載表現について、公益法人も参加可可能と判るように記載。 ・ 「事故及び不誠実な行為」として、評価を減ずる期間の表現を整理

【議事要旨】 各委員からの意見等

【建設コンサルタント業務等】

・ 建設コンサルタント業務等の発注実績等（報告事項）

（委員）○特段の意見なし。

・ 実施方針（案）（建設コンサルタント業務等）

（委員）2.2 実施方針（案）（建設コンサルタント業務等）

○「選定（指名）段階の技術者評価」において、「企業の資格・実績等」、「企業の成績・表彰」と記載されている「企業」は、公営法人等も読めるような記載が良い。

・ 共通する評価方法（案）（建設コンサルタント業務等）

（委員）2.3 共通する評価方法（案）（建設コンサルタント業務）

○参加表明者の経験及び能力の「事故及び不誠実な行為」について、原案では文書注意又は口頭注意を受けた者が、年度途中で工期が完了し、業務成績評定を通知した後に入札に参加した場合、評価点を減点しないことと読み取れるため、文書注意又は口頭注意を受けた者においては、当該年度は評価を減ずると読み取れる表現とした方が良い。

【工事】

・ 工事の発注実績等（報告事項）

（委員）○特段の意見なし。

・ 実施方針（案）（工事）

（委員）○特段の意見なし。

・ 共通する評価方法（案）（工事）

（委員）2.3 共通する評価方法（案）について（検討案）

○企業の施工能力等の「品質管理・環境マネジメントシステム等の取得の有無」の評価として、ISO9001、ISO14001の取得が評価の対象となっているが、社会的責任（SR）の実施に関する手引きを定めた国際規格として、ISO26000についても検討しては如何か。